

# SMART



STANDARDS MACHINE APPLICABLE READABLE AND TRANSFERABLE

## なぜ SMART規格か

テクノロジーは、世界のビジネス、コラボレーション、コンテンツ消費のあり方を変えました。**2025年には、380億台のスマートデバイスがデータを収集、分析、共有するようになる**と言われています。私たちは遅れを取らないようにするだけでなく、先手を打つ必要があります。そしてこれを実現すべくSMART規格の取り組みが進められています。

現在、IEC/ISOの規格類の大半は、人間をユーザーとして想定しているため、人間が読むことができるものしかありません。規格と開発プロセスを進化させることで、私たちは機械に適用可能で読み取り可能、かつ転送可能な規格（SMART規格）を作成し、ユーザーを機械（コンピュータ）にまで進化させることで、**規格が日常生活と密接な関係を築くことができます!**

他の多くのSDOがこの方向に進み、産業界の要求に応じていますが、ISOとIECは、私たちの活動をユニークならしめているコラボレーションとコンセンサス、品質と信頼のモデルを損なうことなく、規格コンテンツの作成と利活用の方法を変革できる唯一の存在です。

私たちは今、国際規格をどのように世に送り出すか、その転換点に立っています。ですから、**今後も私たちと共に SMART規格を形作り**、私たちの成果物やサービスが今日そして明日の市場にとって最も魅力的で適切なものであり続けることを確かなものとしなければなりません。

私たちは規格があらゆる場所・場面で利用されることを願っており、SMART規格はその実現に貢献するものです。

## 本プログラムについて

SMART規格に関するプロジェクトは、IECとISOの主要な共同プログラムであり、両組織間の整合性と実りある協力関係を確保するために、両者が積極的に関与して進められています。

SMART規格に関する取り組みは3つの主要な分野とそれぞれを担当するサブグループで構成されています：

- **ユーザーニーズの把握と理解**、およびSMART規格によるユーザーニーズへの対応  
(共同ユースケースグループ – IEC/ISO JUCG project)
- この新しい成果物の商業化における**様々なビジネスモデルや法的な影響の特定**  
(共同ビジネスモデルグループ – IEC/ISO JBMG project)
- **適切なアーキテクチャの特定**と、生産ライフサイクルへのソリューションの統合 (現在、ISO テクニカルソリューショングループ Technical Solutions Group - ISO-TS と IEC SG12 グループが共同で取り組んでいる)

**SMART規格はグローバルコミュニティのためのツール**であり、これを正しく理解・実現・運用することで、デジタル経済の大きな可能性を引き出すアーキテクチャの構築を実現できると期待されるのです。

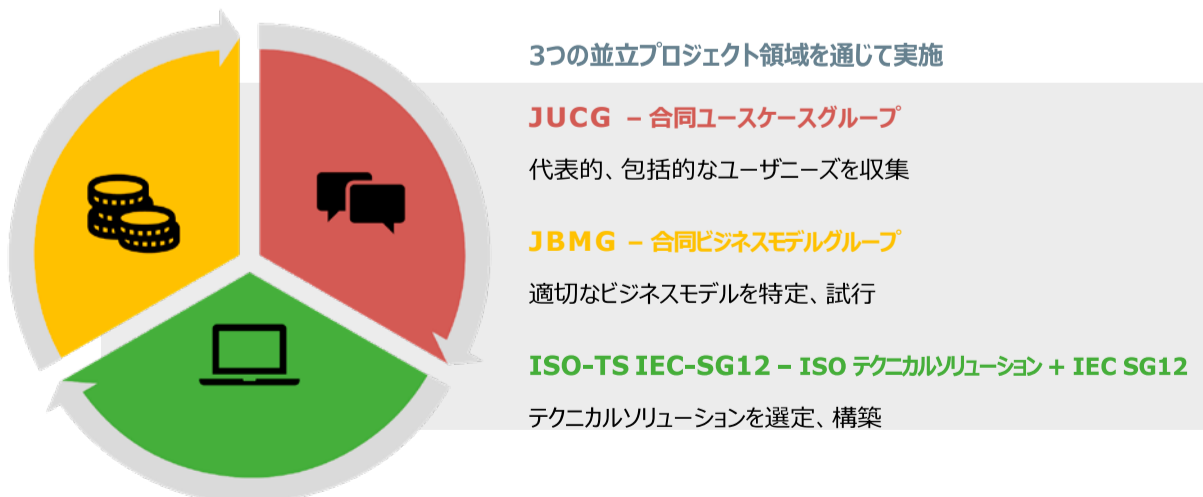
## SMART規格の分類と特徴

**LEVEL 0** は紙、**LEVEL 1** はPDFそして **LEVEL 2** は XMLです。  
(ここで初めて、機械が構造を理解でき、機械との「対話」が実現するのです。)



**LEVEL 3**は、機械が規格の内容を識別できるようになった段階、**LEVEL 4**は、機械がその内容を解釈し、利用できるようになった段階です。

ここに示されたものは、実践を通じて得られた知見を実際の規格開発プロセスに反映すべく活動の初期にまとめられた内容です。



JOIN US ON OUR SMART JOURNEY

iec.ch  
iso.org/smart